

要記 拙鑑

「要記秘鑑」は「御用格」とその性格、内容等において同系統と考えられる旧津輕藩に関する史料で、現在その一部が弘前市立図書館に所蔵されているが、今度同図書館所蔵の分の目録を紹介するに当り、それについて、簡単な解説を附することとする。

弘前市立図書館に所蔵される「要記秘鑑」は、(A)表紙が茶色のもの(二十一冊)、(B)表紙が白色のもの(十冊)、(C)表紙が黄色のもの(一冊)、三種類よりなっており、それが岩見文庫・郷土の両者に分割しておさめられている。以上の点から同図書館所蔵の分を分類表示すると下表の如くなる。(表における空欄は欠巻)

註、(B)の巻二十三は一、二の二冊に分冊されて、

二冊合わせた分が(別)の巻二十三、一冊分と同じ内容を含むものである。

大江正文

9	8	7	6	5	4	3	2	1	数 郷土 岩見
A			A					A	
	B	A				A			
18	17	16	15	14	13	12	11	10	数 郷土 岩見
		A	A	A	A	A	A	A	
		B	B	B	B	B	B	B	
27	26	25	24	23	22	21	20	19	数 郷土 岩見
A				A			A	A	
			A	B註 B					
計 十七 十五	35	34	33	32	31	30	29	28	数 郷土 岩見
		A	A	A					
	A C								

(A)・(B)・(C)の関係について次にみるが、(B)の目次の各項に頁数附されているが、本文にはなく、目次の頁数は(A)の目次の頁数を転記したと考えられるものであり(別)は(A)より各冊の紙数が多く記事がずれて記されている。Bは(別)を写したものと考えられる。又(C)は一冊より見ること水で

きめ爲断言はできぬが、寫本、裝釘よりみて、(A) へ或いは(B)を写したものと考えられる。結局三種のうちで最も原本に近いものは或いは原本か？(附である)と考えられる。

「要記秘鑑」の著者及び成立年代はそれを詳らかにすることは浅学の故出来ないが、その記載内容からして、藩の日記方もしくはそれと極めて深い関係にあるものか著したと考えられる。即ち「要記秘鑑」の内容は「御用格」と一致するものか極めていいが、当時としてはかような資料は重役、日記方等藩内のごく一部の者の外閲覧が許されなかつたと考えられるのであり、それ故著者に關して前記の如き推測を試みたものである。次に成立年代であるが、その記事中最新のものは披見の限りでは文化十一年の物で(卷二十七・卷三十三卷三十五)、それ以前のものはみあたらない。而してこれらの部分はその記事が「御用格」と一致している部分であり、「御用格」においては文化十二年以降の記事がみられることから、「要記秘鑑」は文化十一年以後の年数を経過せぬ間に

成立したものではないかと推定される。

内容については、「要記秘鑑」の各巻の項目中には「御用格」と類似しているものが非常に多いことは各々の目録を一見すれば明瞭であるが、同一もしくは類似の項目に關しては、両者の記事も殆んど完全に一致しているのであり、(例えば「御用格」において記事回の年代が逆になって記されているところは、「要記秘鑑」においても「御用格」と全く同じく順序が逆になっている)、これらの部分は、「御用格」を資料として著述したものと考えられる。しかしながら「御用格」にみられぬ記事も多数あり、家中における諸式の形式、さらには口傳伝説等に至るまで集録されており、図表の多く載せられていることとあいまって、まさに旧津輕藩の百科全書的な趣を呈している。かように利用価値の極めて高いものではあるが、欠点として誤字、脱字の多いことは従来より指摘されている通りであつて、例えば延宝七年十一月十一日の用人支配に關する記事について、「御用格」卷參御用格の項には

御用人支配文面又

一使役 一船奉行 一寺社奉行 一町奉行 一
勘定奉行 一目付 一中小姓頭 一小姓頭 一
親小姓頭 一歩行頭 一組外文面又 一中小姓
以上新参 一書札方 一書物方 一普請方 一
茶道方 一藏方 一馬方 一監者 一膳奉行
一川納戸 一大納戸 一手弓頭 一手筒頭 一
手鉢之頭 一道具頭 一差物頭 一中間支配頭
右之者共諸事用之儀

とあるが「要記秘鑑」にあつては、右以外に「作
事方」一、合所頭」が加えられ、「手弓頭」以下が
脱しているが、この例も「要記秘鑑」の杜撰さの
一端を示しているものと考えられる。しかしなが
ら、かかる点に留意し、その網羅的特色を生かし利
用するならば、その史料価値も決して低いもので
はないと考えられる。

以下目録を紹介するが、各項目に附した番号は
便宜上つけたものであることを御諒願いたい。

附記

目録は川浪洋一氏（中村中学校教諭）、原田

正信氏（金山沢中学校教諭）及び筆者が共同
作成したものである。

（「要記秘鑑」目録）

要記秘鑑 一

公義

(1) 御系譜

要記秘鑑 三

御家

(1) 高照靈社御意書 (2) 御自筆御書付之写

要記秘鑑 六

諸願 諸伺 諸断 吁取願

(1) 縁組願 (2) 御役御免願 (3) 御役免并退明ニ付

諸伺 (4) 伴御奉公見習御免願 (5) 隠居願 (6) 堀

子願 (7) 留養干并養子願 (8) 養子差遣度願 (9)

嫡孫承祖願 (10) 孫養子願 (11) 養孫願 (12) 養女養

弟養妹願 (13) 夫病死ニ付娘引取伺 (14) 分知願

(15) 湯治願 (16) 御目見願 (17) 御家老家江御逢願

(18) 前髪執願 (19) 袖留願 (20) 月並願 (21) 御奉公見

習願 (2) 本革改願 (3) 名改願 (4) 忍髮願 (5) 摘
髮名改 (6) 剃髮願 (7) 附添願 (8) 左御暇願 (9)
茶願 (10) 御紋形着用願 (11) 足袋願 (12) 月代紙
願 (13) 歩行願 (14) 病氣下并登御免願 (15) 山駕籠
願 (16) 雲梯願 (17) 遺物差上度同 (18) 家屋敷諸事
願 (19) 木柄御指願 (20) 末朝願 (21) 同判元見居願 (22)
判元見居人申上書 (23) 及末朝候邸大寄合以上御
札書 (24) 忌明書付 (25) 忌明之節諸同 (26) 入芋願
(27) 諸御禮同 (28) 秣場 (29) 幕願 (30) 御剪紙之節登
城仕銀儀儀 (31) 出家并監者・致度同 (32) 勤芋登
并登下 (33) 附添登 (34) 遠處同 (35) 一出奔義絶助
當一同所 (36) 病元喪死 (37) 重願 (38) 御次第同
(39) 加段御免并當分代 (40) 忌御免同 (41) 大赦願
(42) 諸祈 (43) 吁取願

要記秘鑑 七

公義

(1) 御献上 (2) 下時御献上 (3) 御朱印御系書 (4)
供奉 (5) 日之丸御船 (6) 長崎俵物方 (7) 若君様
(8) 御書付 (9) 御屈 (10) 御願御同 (11) 於御元鳴

物停止番諸作事御定 (2) 諸事 (3) 近衛様醍醐
(4) 武家諸法度 (5) 中田御關所 (6) 公方様御
御參詣 (7) 同所及御成御行列 (8) 越後御檢地

要記秘鑑 八

御家

(1) 御誕生 (2) 御子様方 (3) 御目見 (4) 御月並
(5) 御縁組 (6) 御家舊 (7) 御隱居 (8) 不時御登城
(9) 御官位御官名 (10) 御承祖 (11) 御養子 (12) 御上
下諸事 (13) 御靈膳并御精進 (14) 御拜并御配膳
(15) 日光御參詣 (16) 高懸 (17) 御出 (18) 御名代御使
者 (19) 善光寺廻看御取灰 (20) 他領主使者 (21) 御
養嫌同 (22) 御逢 (23) 御逝去

要記秘鑑 九

御規式

(1) 御能御離子 (2) 年頭御座敷附御定 (3) 御規式
(4) 御祝儀事 (5) 御料理事 (6) 御禮廻御用捨
御用所

(1) 御家老御用人 (2) 諸事見令 (3) 對客 (4) 着服

(4) 頂戴羽 (6) 御取代 (7) 大目付御目付 (8) 書物
并日記力表石筆方

並、一着服には次の如く細別されている。

(1) 御儀之節 (2) 御達 (3) 御座御座干
(4) 御祝儀事 (5) 頂戴物 (6) 高麗兎分 (7) 御
名代御法事 (8) 出動 (9) 寢御機嫌 (10) 書詞
(11) 御書付 (12) 御下濱御湯治御遠馬御成 (13)
御役書 (14) 組引渡 (15) 寧親公御代耳中差服

要記秘鑑 十

御式別帳

御在國

(1) 御燗取御規式 (2) 大膳日御規式 (3) 年頭御
規式 (4) 御吳足御祝儀御規式 (5) 御話初御
規式 (6) 御話初御規式 (但古来御本當
文式江点羽付) (7) 離名
御規式 (8) 年頭御規式 (但石来御本當
文式江点羽付) (9) 離名
御祝儀御規式

御留守

(1) 御燗取御規式 (2) 大膳日御規式 (3) 年頭御規
式 (4) 離名御規式 (5) 御年端御祝儀御料理事

并御能御規式 (6) 御差駕御祝儀御料理事并御
規式 (7) 御差駕御規式 (8) 御差城御規式 (9)
御差城御祝儀御料理事并御能御規式 (10) 御式
中御郭廻諸番所御本當文式 (11) 御規式被仰出
諸事

要記秘鑑 十一

諸頭

(1) 三組頭 (2) 諸物頭 (3) 御中川姓頭御徒頭 (4)
御手弓御手間御手道具頭 (5) 組引渡

要記秘鑑 十二

御家中

(1) 御家中被仰出 (2) 御城中被仰出 (3) 御廣敷中
之口所及御門御定書并御留守中勤番之覚 (4) 所
及御門御係目并御道具之覚 (5) 御目見 (6) 月並
(7) 御奉公見習同御厄并里方江引取 (8) 御紋形
(9) 衣類 (10) 名改 (11) 苗字改 (12) 組替 (13) 次第
(14) 御書出御印

要記秘鑑 十三

御家中

- (1) 湯治 (2) 在御殿 (3) 端置 (4) 雪帽 (5) 幕 (6) 月代執 (7) 御座櫛 (8) 附添 (9) 師役 (10) 誓詞 (11) 御藥并御醫者 (12) 供迎并請徒采 (13) 一統御觸

要記秘鑑 十四

御家中

- (1) 養子養弟嫡孫女養妹 (2) 綴組 (3) 年若二付里方江引取并養生等文書 (4) 袖留 (5) 前髪就 (6) 惣髮剃髮 (7) 摘髮 (8) 諸御禮 (9) 杖御免 (10) 足輕 (11) 御役御免 (12) 隨居 (13) 末期 (14) 忌中忌明 (15) 家督 (16) 申立 (17) 御飛脚 (18) 登下 (19) 御家中江戸上方上下道中渡金寛

要記秘鑑 十五

吉事

- (1) 御役替 (2) 婿参 (3) 分知 (4) 御喪美被下物

差上物

- (1) 差上物御定 (2) 差上物 (3) 御膳 (4) 他領者

- (1) 差上物 (5) 他領者江被下物 (6) 御家中并寺江方分限高調 (7) 御家中蹴式定

要記秘鑑 十六

御側廻

- (1) 御側廻 (2) 奥通 (3) 御川納戸 (4) 大納戸 (5) 坊主方

御廣敷

- (1) 被仰出 (2) 御前様御子様方 (3) 瑤池院様御前様御行列 (4) 船産婦 (5) 御前屋様并御共中 (6) 酒佐矩様御縁組一件 (7) 申立

御臺所

- (1) 被仰出 (2) 御臺所頭 (3) 吟味役請拂役 (4) 御料理方 (5) 漁師頭 (6) 御家奥方

茶之湯次第書

要記秘鑑 十九

御方

- (1) 津輕地形文図 (2) 津輕行程記 (3) 御方被仰出 (4) 御奉行 (5) 御代官 (6) 御家中在宅御触 (7) 御

弊 (3) 御目見御賣幣刀御免 (2) 御紋形 (10) 衣類
 (1) 被下物 (2) 漆方并植付物 (3) 太々神樂 (4) 藤
 崎村提神の由来 (5) 同神文 (6) 同村鹿系御前の
 由来 (7) 乳蓮の図

要記秘鑑 二十

部方

(1) 御料帳 (2) 山口八重森村帳 (3) 黒石平内領帳
 利帳 (4) 青森縣々澤町其外浦々 (5) 東日流町監
 湯田里ノ号 (6) 十三往來 (7) 宮木山ノ地里
 (8) 御領分中道法并改集起 (9) 上中下村定積 (10)
 村々際堀下金御定 (11) 御巡見使廻番ニ付諸勤
 所 (12) 藤崎村提神之由来 (13) 如家瀬村杭戸堀押
 之由来 (14) 奉行所特之者 (15) 在割付物代錢御定
 并種木租賃御定 (16) 御膳物代米御定 (17) 諸品代
 米御定 (18) 諸事

要記秘鑑 二十三

町

(1) 被仰出 (2) 町奉行 (3) 御目見 (4) 御紋形 (5)

衣類 (6) 町年寄 (7) 御役錢御定 (8) 所々御代錢
 并御米綱高 (9) 町監 (10) 八幡御衆禮 (11) 申立
 (12) 甲屋 (13) 掃屋 (14) 長吏彈在衙門由緒書 (15) 板
 倉伊興守提狀 (16) 公義評定所法式并公事評訟取
 捌

要記秘鑑 二十四

勘定所

(1) 被仰出 (2) 勘定奉行 (3) 御米方 (4) 御廻船
 (5) 町書 (6) 金銀錢譜 (7) 御用達 (8) 御登セ物御
 下ノ物 (9) 押船拾物 (10) 御掃物 (11) 御荷物 (12)
 所々御藏方 (13) 四奉行 (14) 餘米渡 (15) 知行俵子
 金給扶持方相割割
 註、「金銀錢譜」は
 再撰金銀錢譜
 (16) 本朝實貨事略 新井碩俊守源君美著
 の二頁に細別されている。

要記秘鑑 二十七

山方

(1) 山奉行 (2) 銅山方 (3) 矢立杉 (4) 吟味役 (5)
御境伐木 (6) 枝木柱木雪
御武具

(1) 御武具藏 (2) 松前工サシノウヤ北蝦夷地御備
御武器 (3) 浦々諸邊御武器 (4) 海岸御固所墓場
御武器 (5) 御印齊旗之図 (6) 御武器惣調

御家屋
(1) 御家屋御定 (2) 御家屋奉行 (3) 御役者

岩木川
御典

(1) 加賀增人 (2) 類役朋役 (3) 諸租警固同並足輕
相定民勤所并下時繰上加入勤所

黒口

要記秘鑑 三十二

御制法儀

(1) 文化御改御形法定例目錄 (2) 同御形法捌目錄

要記秘鑑 三十三

凶事

(1) 過憂閉門 (2) 塾居 (3) 御預者 (4) 御役下 (5)
御暇 (6) 家督之節身上被召上候者并半知被下置
候者等 (7) 追放 (8) 養絶勘當和認 (9) 一門所他
出差留警高等 (10) 益人御登口 (11) 同御下 (12) 入
牢出牢 (13) 取退無盡御法度 (14) 丹後者御制葉
(15) 銅鉛山吉使 (16) 乙食手江相下候 (17) 大赦取扱
(18) 御仕置 (19) 公義御仕置仕形 (20) 遠慮諸事

要記秘鑑 三十四

凶事

(1) 御印物印刷 (2) 御出之隔置違 (3) 御家老御用
大江照禮 (4) 領献上日之丸御返物置違 (5) 諸御
禮振露違者取違 (6) 御名代御召物置違 (7) 御臺
所廻 (8) 諸断通用御讀聞違 (9) 刀鞘走處外 (10)
認違違帶不吟味不心耐心得違御書物 (11) 書詞御
飛脚違 (12) 御藏御鍔溪順違目論違 (13) 田方山方
屋敷夜廻養子 (14) 諸渡物押物御用違 (15) 組支配
(16) 交鐘失物咎人盜賊御預聞所評定所 (17) 遠慮慎
御阿 (18) 遠慮日教御定 (19) 町柱之者御追尋之節
御家中遠慮 (20) 出座定

中
文
被
印
出

(2) 兩都御屋敷御類焼并弘前火事

(3) 在浦火事
(4) 山火事
(5) 地震
(6) 洪水
(7) 天

風
(8) 出奔
(9) 捨子迷子
(10) 打捨